

活用効果評価結果

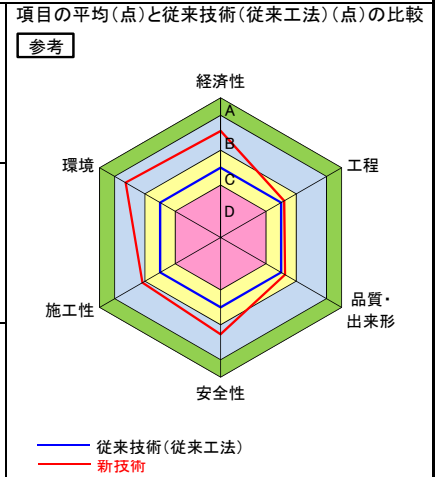
公開版

近畿地方整備局 / 新技術活用評価会議

平成29年度

NETIS 情報	開発目標	経済性の向上、安全性の向上、作業環境の向上				
	新技術登録番号	CG-110021-VE	区分	機械	有用な技術の位置づけ	活用促進技術
	分類	道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工 - その他				
	新技術名	プラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ動力工具『プリストルプラスター』				
	比較する従来技術(従来工法)	プラスト処理				
新技術の概要及び特徴	本技術は鋼構造物の塗替前の素地調整において、素地調整程度1種の処理ができるハンディ動力工具である。					

活用効果評価	所見	<p>参考の評価基準に基づき「従来技術より優れる」と位置づけされる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境は、研削材や除去物の粉塵飛散が殆どなく、騒音も少なく、産業廃棄物の発生も少ないという理由で優れている。 ・小型機械のために、狭窄な作業空間での施工性は向上する。 ・大型装置が不要であり、施工中の研削材飛散もないため、作業者及び第三者の安全性が確保できた。 															
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	実施要領における継続調査の要件にあてはまらないため、次回以降の評価は不要とし、情報識別記号「-VE」とする。															
	留意事項	少量施工には適していると思いますが、プラスト施工と比較して施工面積が大きくなると施工日数や時間はかかると思われず															
	活用効果調査表における改良点及び要望	-															



活用効果調査結果	参考	対象工事	別紙参照																		項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)				
		項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)		
		施工時評価	経済性																						B	C
			工程																						C	C
			品質・出来形																						C	C
			安全性																						B	C
			施工性																						B	C
			環境																							B
		その他																								
		総合評価点																							B	
		今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	43%				活用を検討したい				場合によっては活用することもある				技術の改良を強く望む				各項目における判定						
				43%				40%				16%				0%				A	従来技術より大幅に優れる					
				43%				40%				16%				0%				B	従来技術より優れる					
				43%				40%				16%				0%				C	従来技術と同等					
		H26.4以降の活用効果調査表48件にて判定(旧調査表24件は判定不可)																D	従来技術より劣る							
		追跡調査の必要性	不要																							
		追跡調査	-																							

活用効果評価結果

平成29年度

N E T I S 情 報	開発目標		経済性の向上、安全性の向上、作業環境の向上																																	
	新技術登録番号	CG-110021-VE	区分	機械	有用な技術の位置づけ															活用促進技術																
	分類	道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工 - その他																																		
	新技術名	プラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ動力工具『プリストルブラスター』																																		
	比較する従来技術(従来工法)	プラスト処理																																		
新技術の概要及び特徴	本技術は鋼構造物の塗替前の素地調整において、素地調整程度1種の処理ができるハンディ動力工具である。																																			
参 考	対 象 工 事	1	設備補修工事	(従来技術: プラスト法)	施工者希望型(契約後提案)	H23																														
		2	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約前提案)	H24																														
		3	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H24																														
		4	橋梁補修工事	(従来技術: 1種ケレン(オープンプラスト))	施工者希望型	H24																														
		5	鋼上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		6	上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		7	鋼上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約前提案)	H25																														
		8	塗装塗替工事	(従来技術: サンドプラスト工法)	施工者希望型(契約前提案)	H25																														
		9	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		10	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		11	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		12	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		13	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		14	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		15	橋梁補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		16	鋼上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		17	橋梁補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		18	上部工事	(従来技術: 大型の装置や多量の研削材を用いるプラスト処理法である。)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		19	上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		20	耐震補強工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		21	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		22	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H25																														
		23	橋梁補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		24	上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		25	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		26	上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		27	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		28	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		29	橋脚工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		30	耐震補強工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		31	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		32	橋脚工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		33	鋼上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		34	耐震補強工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		35	橋脚工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		36	橋脚工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		37	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		38	補強補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		39	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H26																														
		40	維持工事	(従来技術: 大型の装置や多量の研削材を用いるプラスト処理法)	施工者希望型(契約前提案)	H26																														
		41	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		42	塗装工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		43	橋梁補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		44	橋梁工事	(従来技術: プラスト工(素地調整1種))	施工者希望型(契約前提案)	H27																														
		45	橋脚工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		46	橋梁補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		47	歩道橋工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		48	橋梁補修工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		49	上部工事	(従来技術: プラスト処理)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
		50	歩道橋上部工事	(従来技術: 大型の装置や大量の研削材を用いるプラスト処理法)	施工者希望型(契約後提案)	H27																														
ケース番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25										
項目		H23	H24	H24	H24	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H26	H26	H26										
施 工 時 評 価	経済性	B	B	B	C	A	A	B	B	B	B	D	C	B	C	D	A	C	A	A	A	A	A	A	A	B										
	工程	D	D	C	D	B	D	A	A	D	D	D	D	C	D	B	D	D	B	A	D	C	C	D	D	B										
	品質・出来形	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	B	B	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	B										
	安全性	C	A	B	B	C	B	B	C	C	B	C	B	B	C	B	C	B	C	B	C	C	B	B	B	B										
	施工性	B	D	B	C	C	B	B	B	C	C	B	C	B	B	C	B	B	A	B	C	B	B	B	C	B										
	環境	A	A	B	B	B	A	B	B	C	C	B	C	B	A	C	B	A	A	B	B	B	A	B	B	B										
その他																																				
総合評価点		C	C	B	C	B	B	B	B	C	C	C	C	B	C	C	C	B	C	B	B	C	B	C	C	B										
ケース番号		26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50										
項目		H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27											
施 工 時 評 価	経済性	A	B	B	B	A	A	B	B	C	B	B	B	A	B	B	B	A	B	B	A	B	B	B	B											
	工程	C	B	B	B	D	C	B	C	C	B	C	B	C	B	C	B	B	A	D	C	B	C	C	B											
	品質・出来形	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C											
	安全性	A	B	B	B	A	A	B	A	B	B	B	C	A	C	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B											
	施工性	C	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	A	B	B	C	B	B	D	B	B	B	B											
	環境	A	B	B	A	B	A	B	A	B	A	A	A	A	A	B	B	B	A	B	B	A	B	B	B											
その他																																				
総合評価点		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B											
今 後 、 当 該 技 術 を 活 用 出 来 る 工 事 に 活 用 し た い か	今後是非活用したい						活用を検討したい					場合によっては活用することもある					技術の改良を強く望む					各項目における判定														
	43%	40%					16%					0%					A					従来技術より大幅に優れる														
																	B					従来技術より優れる														
																	C					従来技術と同等														
		H26.4以降の活用効果調査表48件にて判定(旧調査表24件は判定不可)																									D					従来技術より劣る				

